

読売新聞 きょう（7月26日）のイチ押し

1面・社会面・特別面など 柔道で兄妹が史上初めて同日金

柔道男子66キロ級の阿部一二三選手と妹で女子52キロ級の詩選手が金メダルをそれぞれ獲得しました。レスリング女子の伊調ら、姉妹や兄弟が同じ大会でメダルを獲得したケースはこれまでもありますが、同じ日に兄と妹がともに金メダルを取ったのは史上初めてです。

- ★2014年、講道館杯で史上最年少優勝した一二三選手は一躍脚光を浴びました。その後、世界選手権を二連覇するなどして「東京五輪の星」と期待されましたが、ライバル・丸山城志郎選手が立ちはだかり、崖っぷちに立たされます。それでも不屈の精神で復活し、昨年12月、丸山選手との代表決定戦で24分間にわたる死闘の末に代表の座を勝ち取りました。
- ★兄・一二三選手を追いかけて柔道を始めた詩選手。兄に先駆けて代表内定を勝ち取り、この日も一足先に金メダルを獲得しました。兄の試合を会場の隅から見守り、一二三選手が優勢勝ちした瞬間、飛び跳ねて喜んでいました。「東京五輪できょうだいで金メダルを取る」と切磋琢磨してきた2人は、その夢を実現しました。

3社面 ため池水難事故 10年で255人が犠牲に

全国に約16万か所ある、ため池での転落死亡事故が後を絶ちません。ため池は遊泳や水遊びが目的で造られていないため、急に深くなったり、泥や藻で足が取られたりし、いったん転落すると自力ではい上がるのは簡単ではありません。管轄する農林水産省は立ち入れないような安全対策を求めています。所有者や管理者が不明なケースも多く、対策が進まないのが現状です。連日35度以上の気温を記録するなど猛暑が続き、水が恋しくなる季節ですが、くれぐれも注意が必要です。

他紙と比べて

金メダルラッシュが続く東京五輪。読売新聞は、日本選手が金メダルを獲得したことを伝える号外を制作しています。新型コロナウイルスの感染防止対策で、原則、街頭での配布は見合わせていますが、読売新聞オンラインですべて閲覧できます。